

# 防衛省における被災地産品の利用拡大 の取組について

平成29年7月21日 防衛省

## 1 防衛省における被災地からのレトルト食品調達について

- 防衛省で調達しているレトルト品(陸上自衛隊の戦闘糧食Ⅱ型)については、 全21種類のメニューのうち13種類が、被災地(青森県、岩手県、宮城県及び 福島県の東北4県)の工場で製造された主食(ごはん類)又は副食(おかず類) を含んだ製品。
- 平成28年度の被災地産製品の調達実績は約94万食(約6.2億円)。
- 今年度も引き続き、全体のバランス等を考慮しながら、これら<u>被災地産の</u> 製品の調達数量を増加させていく予定。





【戦闘糧食Ⅱ型の構成】

(パックの外観)

## 2 防衛省における地産地消の取組について

○ 防衛省では、駐屯地や基地等で提供する食事について、<u>地元の食材を活用する地産地消と東日本大震災</u> の被災地産品の消費拡大に積極的に取り組んでいる。具体的な一例については以下のとおり。

## (1)福島県産の米の利用促進

○ 今年2月24日の復興大臣からの指示事項※に関して、福島県産の米については、これまでも福島県内 に所在する全ての駐屯地・基地では、福島県産の米を産地指定して調達。今年度も引き続き福島県産の米 を調達しているところ。

#### 【昨年度の調達実績】

	福島県内の駐屯地・基地	産地指定	銘 柄	28年度調達量
陸上自衛隊	福島駐屯地(福島市)	福島県産	コシヒカリ 1等米	48 トン
陸上自衛隊	郡山駐屯地(郡山市)	福島県産	コシヒカリ 1等米	30 トン
航空自衛隊	大滝根山分屯基地(双葉郡)	福島県産	コシヒカリ 1等米	4. 8トン

#### ※ 復興大臣からの指示事項(要旨)平成29年2月24日 復興庁

- 2. 福島県が自信を持って販売できる環境づくり
- (1) 略
- (2) 先ず隗より始めよ。各省庁は、福島県産農林水産物の利用を促進すること。その上で、関係団体・企業に対して要請し、応援の輪を広げること。

## (2)被災地宮城県特産のホヤの利用促進

- 防衛省では、販路の拡大が課題となっている、被災地である宮城県特産のホヤについて、宮城県内の各駐 屯地・基地において、ホヤを活用したメニューを給食に取り入れ、隊員に提供している。
  - ✓ 陸上自衛隊では、これまでに、多賀城駐屯地(多賀城市)で「宮城復興ホヤ天カレー」「ホヤのみそバター焼 き」、仙台駐屯地(仙台市)で「ホヤキムチ」、船岡駐屯地(柴田郡)で「ホヤ天ぷら」、大和駐屯地(黒川郡)で 「ホヤ天丼」等のオリジナルメニューを昼食等で提供。
  - ✓ 航空自衛隊では、今年3月に松島基地(東松島市)でホヤ調理競技会を開催。6月には復興大臣當受賞 メニュー「ホヤ入り海鮮ビビンバ」を同基地の昼食で提供。今月には別メニュー「ホヤ散らし」も提供。
- このほか、**防衛省本省**(東京都新宿区)においても、防衛省共済組合の協力のもと、共済組合直営食堂で 職員等に対してホヤを利用した特別メニューを昼食で提供予定(今年8~9月頃)。
- これらの取組を通じ、ホヤの認知度を高め、被災地産品であるホヤの消費拡大を促進。





「宮城復興ホヤ天カレー」(陸自多賀城駐屯地) 「ホヤ入り海鮮ビビンバ」(左)と「ホヤ散らし(右)」(空自松島基地)

## (3) 今後の取組

○ 防衛省としては、駐屯地や基地等での食事を通じて地元の食材を活用した地産地消と東日 本大震災の被災地産品の消費を拡大し、それぞれの地元に貢献していくことに、今後とも積極 的に取り組む。